

Vitality and Delicacy:  
The World of Privately Published  
*Surimono* Prints



六歌仙

多彩・繊細  
**摺物の世界へ**  
ようこそ



六美人



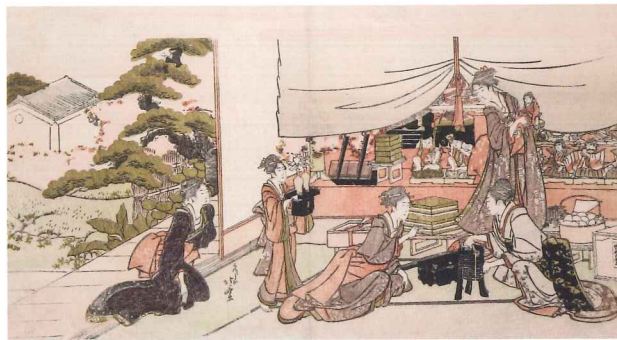
扇屋店先

摺物とは、江戸時代に俳諧や裕福な旦那衆の中で流行した高価な木版画のことです。正月や春の節句など季節の節目に仲間うちで配られました。江戸時代にあった絵草紙屋と呼ばれる版画や版本を取り扱う店などで売られることはほとんどなかったため、現代に残っているものは少なく貴重なものになっています。呉服商などの裕福な商人たちは、お金に糸目をつけず競うように豪華な作品を求めたといい、当時の人気絵師に作画を、腕のいい彫師や摺師に制作を依頼していました。

摺物の形は様々で、現代の面用紙のような大きなサイズのものから、ポストカードサイズのものまであります。職人たちは光に反射するときにきらきらと光る雲母粉（きららふん）を使った雲母摺（きららすり）と呼ばれる技法や、顔料を用いずに摺り模様跡だけをつける空摺（からすり）と呼ばれる技法を駆使し、繊細かつ高度な技を作品に注ぎ込みました。北斎も摺物を多く手掛けており、描く線の繊細さやきめ細やかさは目を見張るものがあります。

摺物にされるテーマにはさまざまなものがあり、正月に配られる摺物にはその年の干支や鏡餅などの正月飾り、雛祭りなどの春の節句には雛人形や桃の花がモチーフにされました。また、現代のカレンダーのように大の月、小の月を表す数字を絵の一部として忍ばせて描くユーモアに溢れたものや、歴史や物語の中の登場人物をその物語とは関係のない世界に描いたパロディ作品のようなものなどその内容は多彩です。

江戸時代に裕福な商人たちによって楽しまれた、華やかで繊細な摺物の数々をどうぞお楽しみください。



雛飾り

この度は北斎館の企画展「多彩・繊細 摺物の世界」へお越しくださいますことにより誠にありがとうございます。この展覧会は、当館がコレクションする数多くの摺物に焦点をあてた展覧会です。

北斎館ご案内

■開館時間

午前9時～午後5時  
(ご入館は午後4時30分まで)

■駐車場

北斎館駐車場(北斎館に隣接)  
大型車・中型車2,000円  
マイクロ1,500円、普通車400円  
(いずれも3時間まで)

■アクセス

- 電車ご利用の場合  
JR長野駅「善光寺口」を出て長野電鉄 特急約20分、普通約30分、小布施駅下車徒歩12分
- 車で越しの場合  
国道18号線「豊野」信号から約10分、上信越自動車道「小布施PAスマートインター」(ETC車専用)から約8分、「須坂長野東インター」から約20分、「信州中野インター」から約15分

